

令和6年度 伊勢原市立成瀬小学校グランドデザイン（案）

憲法・教育基本法・学校教育法その他、関係教育法令に基づき、学習指導要領の主旨を生かした創意ある教育活動の推進

教育理念

- ◆4つの柱
- (1)信頼される学校づくり
 - (2)豊かな人間関係づくり
 - (3)基礎・基本の確実な定着・読書活動の推進
 - (4)教育力・指導力・授業力の向上

児童の実態
教職員の願い
保護者・地域の願い
時代・社会の要請

<確かな学力をつけるために>

- ・基礎的・基本的事項の指導の徹底
- ・育成を目指す資質・能力の明確化
- ・一人ひとりの子どもが主体的に活動する授業や主体的対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の取組や行事づくりの推進
- ・子どもを中心に据えた教育課程の編成と教育活動の推進
- ・学習におけるICT(1人1台端末等)の利活用
- ・地域教材の積極的な活用
- ・家庭学習の充実
- ・「学びのすすめ」の活用
- ・全国学力・学習状況調査の活用

<豊かな心を育てるために>

- ・人権教育の充実
- ・道徳教育の充実
- ・あいさつ運動の実施
- ・教育相談の充実
- ・情報モラル教育の推進
- ・支援教育の充実と推進
- ・食育の推進
- ・読書活動の推進
- ・環境教育の推進
- ・コミュニケーション能力の育成
- ・いじめや差別を許さない人権教育の充実
- ・命の大切さの指導
- ・家庭と連携した基本的生活習慣の確立

<健康で安全な学校生活の確立>

- ・自分の身は自分で守る力の育成(危険予測能力の育成))
- ・運動の楽しさと継続する大切さ
- ・健康安全の確保
- ・体力テストの活用
- ・事故の未然防止に努め、子どもを守る仕組みの構築
- ・「新しい生活様式」を踏まえた学校生活の構築

～学校教育目標～

生きる力の育成

人間尊重・基本的人権の尊重を基盤として、地域社会の特性や実態を踏まえ、確かな力と広い心を持ち、たくましく生きる児童の育成に努める。

○(知) よく考える子 <かしこく>

・話をしっかり聴き、気持ちや考えを表現できる子

・自分の良さを知り、自分らしく生きる子

○(徳) 思いやりのある子 <やさしく>

・友だちを思いやり、勇気をもって正しい行動がとれる子

・友だちと仲良く、はげましあう子

○(体) たくましい子 <げんきよく>

・いきいきと元気に活動し、自ら健康増進に努める子

・きちんとした生活習慣で過ごせる子

『今年度の重点』

<具体的な児童の目標>

○「あいさつ」…気持ちのよいあいさつを通してなめらかなコミュニケーションを図る。

○「そうじ」…自分の役割を自覚して協働することの意義やよさを理解する。

<成瀬小学校 児童会スローガン>

な(な)か(か)よく る(る)ー(ー)る(る)を(を)ま(ま)も(も)つ(つ)て て(て)い(い)ち(ち)ょう(ょう)で(で)き(き)る(る)

<学校としての取り組み>

【「いいね」(承認と称賛)があふれ、楽しく安心してすごせる成瀬小学校】

○教育相談の充実…担任等の教育相談、SCによる相談、いじめ相談窓口の活用。
教育相談コーディネーターを中心に、SC等の関係機関と連携。

○教科担当制の実施…各学級を複数の教員が関わることで、きめ細やかな指導や多面的な児童理解、教職員の負担軽減等を図る。

○地域とともにある学校づくり…PTA活動や学校運営協議会等をとおして家庭や地域との連携を一層深め、学校における多様化する課題について家庭や地域と協働して取組を進める。

<校内研究の充実のために>

「楽しく安心して過ごせる成瀬小学校」

・「相手を思いやる優しさ」「相手の立場を理解する気持ち」を育む。

<地域とともにある学校づくりの推進のために>

- ・地域人材の積極的な活用
- ・地域に根ざした教育の推進
- ・学校運営協議会をはじめ地域の関係機関等との連携を図る。

<信頼される学校づくりのために>

- ・家庭、地域関係団体との連携
- ・保護者の疑問や質問に迅速かつ丁寧に答える相談体制の確立
- ・学校だより・学年だより等で情報発信

<安全な学校のために>

- ・安全点検の実施
- ・防災訓練・防犯訓練の実施
- ・登校指導・下校指導
- ・交通安全教室の実施
- ・愛のパトロールの実施